

# 第1部 高温障害に負けない堆肥稻作とは? (全27分)



猛暑の2010年、激発した白未熟粒発生の仕組みを解説。防止の鍵は、葉と穂づくりが同時に進む「生育中期」の肥効を高めることにあった。そのころ自然と出てくる堆肥の肥効を活かす「中期茎数確保型」の稻作に切り替えれば、手間も金もかけずに、田んぼ任せで誰でも1等米がとれる。

協力: 本田強(環境保全米ネットワーク)、南方町水稻部会(JAみやぎ登米)ほか

## 一 構成 一

※以下はスキップボタンで頭出しできます

### ▼プロローグ

(1分20秒)

### ▼高温はイネにとっての「敵」か

(1分20秒)

—高温障害多発の一方、作況指数は高い事実をどう見る?

### ▼堆肥イネは白未熟粒が出なかったのはなぜか

(8分)

—白未熟粒が多発したのは堆肥なしのイネだった

### ▼白未熟粒発生のしくみ

(3分)

—白未熟粒発生には登熟期の栄養状態が大きく関係している

### ▼堆肥イネと堆肥なしの違い

(6分)

—白未熟粒多発の堆肥なしは夏バテし、登熟期にチソ不足

### ▼堆肥の肥効で中期茎数確保型のイネつくり

(6分30秒)

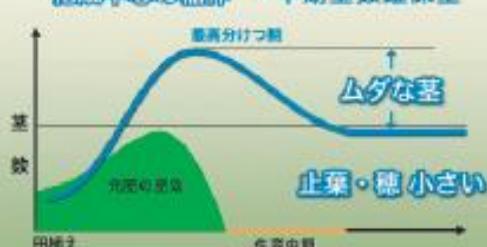
—堆肥のじわじわ肥効+中期茎数確保=白未熟粒&倒伏なし

### ▼環境保全型堆肥稻作 もっと楽しく・豊かに

(6分)

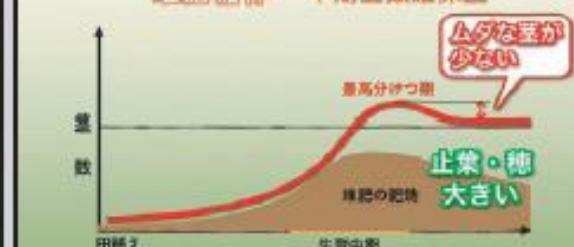
—堆肥稻作と産直運動を結び付けた環境保全米で地域も消費者も豊かに

#### 化成中心の稻作 ー早期茎数確保型



ムダ茎が多い化成中心の早期茎数確保型イネ

#### 堆肥稻作 ー中期茎数確保型



堆肥元肥のイネつくりは「中期茎数確保型」で

## 第2部 東西の堆肥稻作～気候別 堆肥元肥のやり方～（全42分）



田代秀樹農業技術士　堆肥のやり方

堆肥の肥効は、平均気温15度を超えるとジワジワ出てくる。暖地なら、元肥は堆肥だけで十分。寒地では、少しだけ化成の元肥で補うのがコツ。中期茎数確保型の生育コースをベースに、地域に合わせたやり方の実例を紹介。研究者による解説も有。

協力：五十嵐清七（福島県）、恒石平（高知県）、福留官一（鹿児島県）、本田強ほか

### —構成—

※以下はスキップボタンで頭出しできます

#### ▼プロローグ

(2分)

#### ▼西日本の堆肥稻作 堆肥一発型

(8分30秒)

—化成の元肥・追肥なしで9俵どり&白未熟粒激減

#### ▼西日本の堆肥稻作 追肥補完型

(10分)

—生育に応じ化成を追肥。疎植、中干しなしの豪快イネ

#### ▼東日本の堆肥稻作 元肥補完型

(11分30秒)

—化成元肥を少し補う。初期寂しくてもやがて追いつく

#### ▼解説 ここがポイント 堆肥稻作

(10分)

<内容> 寒地と暖地の堆肥稻作 共通する特徴／堆肥は「肥料」／食味が落ちることもある？／きつい中干しをしないのはなぜ？／中期茎数確保型の堆肥稻作とは

(講義 本田強さん)



堆肥なしイネは白未熟粒が多発したが、  
堆肥イネは全量一等米

堆肥なし  
堆肥イネ

#### 堆肥稻作のポイント

1. 疏植
2. 茎数は中期に確保
3. 中干しなし



暖地と寒地に共通するポイントを整理

## 第3部 飼料米こそ堆肥稻作で～家畜糞堆肥による超多収～(全26分)



肥効を落とさないのが多収のポイントである飼料米は、堆肥との相性バッチリ。即効性の尿液肥と組み合わせれば、超低コストで超多収できる。農家による実践に加え、研究者による超多収の実証試験の成果から、多収のための適正な堆肥施用量をさぐる。

協力:五十嵐清七(福島県)、信岡誠治(東京農業大学)、山本幸(岡山県)ほか

### —構成—

※以下はスキップボタンで頭出しつけられます

#### ▼プロローグ～飼料米こそ堆肥稻作で(農家実践)

(9分)

一食用米と異なる栽培法、堆肥と液肥で多収する道

#### ▼もっと低成本・超多収を(研究成果)

(8分)

一超多収品種ならではの堆肥施用量とは

#### ▼おまけ 手づくり施設で尿液肥つくり

(9分)

<内容> 設備と費用／手づくり施設の使い方／ムラなく流し込むポイント

